

4学年 算数科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

- 1 除法についての理解を深め、適切に用いる事ができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いる事ができるようにする。
- 2 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求める事ができるようにするとともに角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。
- 3 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。
- 4 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。

◆ 評価の観点

- ・数理的な事象に関心を持つとともに、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりする事よさに気づき進んで生活や学習に活用しようとする。
- ・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しを持ち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身につけている。
- ・整数、小数及び分数の計算をしたり、図形の面積を求めたり、図形を構成要素の位置関係に着目して構成したり、数量の関係かどを表したり調べたりするなどの技能を身につけている。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、面積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量関係などについて理解している。

◆ 評価の方法

学習態度 ノート 発表 テスト プリント

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ 大きな数のしくみ	・億・兆の位の数の読み書きができ、仕組みを知る。
	○ 角の大きさの表し方	・角の特徴を知り、測定や作図をする。
	○ わり算	・わり算のきまりがわかり、簡単な筆算をする。
	○ 四角形	・いろいろな四角形の特徴がわかり、作図する。
	○ グラフ	・折れ線グラフをよんだりかいたりする。
	○ そろばん	・そろばんを使って簡単な計算する。
	○ 小数の仕組	・小数の意味や仕組みを知り、簡単なたし算・ひき算やかけ算・わり算をする。
後期	○ わり算の筆算	・(2けた・3けた)÷(1けた)の筆算をする。
	○ 整理の仕方	・資料を2つの観点で整理し、読みとる。
	○ 計算のやくそく	・四則・()の混合した式の計算の順序や計算のきまりを理解したり、問題を解いたりする。
	○ 広さ	・面積の意味や単位を知り、正方形・長方形の面積を求める。
	○ 分数	・分数の意味や仕組みを知る。
	○ 変わり方調べ	・ともなって変わる2つの量の性質やきまりを知り、
	○ がい数	・概数の意味を知る。四捨五入の意味と仕方、概数の表す
	○ 小数のかけ算とわり算	・小数の乗法・除法を計算する。
○ 直方体と立方体	・直方体・立方体の性質について知り、その構成要素や位置関係について理解する。	